

番号	122	大正三年高潮災害記念碑		
所在地	白石町福富			
災害別	大正３年（１９１４）高潮			
目的別	記念碑	建立年	大正８年８月	
特記事項	潮塞観音堂と並んで建つ 碑文の一部判読困難			



潮塞観音堂の横に建てられた大正三年高潮災害記念碑。「佐賀県災異誌」（1964 佐賀県防災課発行）に載せられている当時の佐賀新聞の記事によると、大正3年8月25日の台風による高潮により、「杵島、藤津、小城、佐賀の有明海沿岸の各海岸堤防六角川、塩田川その他の河川堤防の殆んどが決壊し、潮水侵入大海原と化し、田畑の被害5000町歩、家屋浸水5000戸、農作物は云うに及ばず、道路、橋梁、船舶、人畜の被害も又莫大な数字に上る。」とある。

この碑の碑文は漢文で書かれており、わかりづらいがその被害の概要や教訓などが記されているようである。

「書曰湯湯洪水方割蕩蕩懷山襄陵浩浩滔天下民其咨嗚呼不懷幾千歳後罹此災害矣時維大正三年八月下旬數日我有明海岸一帶高潮襲來浸杵島小城佐賀藤津四郡幾萬頃美田淼漫遠與海水相連此間數千家屋浮流沈沒幾多人畜溺死漂流與海藻口擇焉夫堯之水生於人煙稀薄之地今此潮也起於戸口稠密殊稻田繁茂之候一瀉千里人畜之被害非同日之論也 就中如我福富村東南瀕海則被害最甚矣 噫乎回顧當時天候激變暴風雨俄至電光雷擊炎熱忽加宛然如烘示災

變兆於是乎閭村驚怖不能措各盡死力以施應急策然不免多大災害矣堤塘欽壞者延長二千二百餘間耕地廢滅者五三十町餘家屋破壞流亡者四百矣 其他之慘況杵島郡所編高潮災害志中口之 頃者村民相謀建碑勒其概要將以為防水之箴不亦善乎

銘曰 大哉水之利 甚哉水之害 當其順流時 可漕又可溉 際其暴漲日 決潰無可制 千戶萬頃田 轉瞬付滂湃 居安不忘危 維是千載誠」 葉村 山口良吾撰
(役職氏名等は略)



国土地理院電子国土 Web

